

新たな学校生活の始まり 小学校入学式

4月7日、町内にある3つの小学校それぞれの体育館で入学式が行われました。

やわらかな春の日差しの中、新1年生77人が大きな希望と期待を胸に、学校生活をスタートさせました。



友達と一緒に笑顔を見せる新1年生

新屋小学校では新1年生40人が入学しました。

教職員や保護者、6年生が優しく見守る中、担任の先生に名前を呼ばれると、元気に「はい」と返事をして立ち上がりました(上写真)。

小高哲茂校長は式辞で「あいさつをしっかりとすること、友達の良いところを見つけて仲良くすること、交通事故に気を付けること」と呼び掛け、新1年生を歓迎しました。

入学式後はそれぞれの教室に戻り、担任の先生や新しい友達と楽しそうに会話する姿が見られました。

上を向いて歩こう かんら DE アンブレラスカイ

新緑のまぶしい季節、甘楽総合公園内「スズカケの森」の遊歩道に、今年も色鮮やかなアンブレラスカイが登場しました。赤・青・緑・黄色・ピンクなど約480本の傘が頭上を彩り、全長96mにわたるカラフルなトンネルが続きます。

陽の光を通して足元には色とりどりの影が広がり散歩を楽しむ人も自然と足を止め、写真を撮る姿も多く見られます。

この取り組みは2021年に始まり、今年で5回目を迎えました。毎年SNSを中心に話題を集め、今では町の初夏を代表するイベントとして多くの人に親しまれています。開催は6月1日まで。

初夏の陽気とともに、カラフルな傘が織りなす非日常のひとときをぜひお楽しみください。



カラフルに彩られた「スズカケの森」遊歩道

岩井さんの100歳を慶祝

岩井なみさん(大正14年3月26日・天引)が100歳の誕生日を迎えられ、3月26日に森平町長が特別養護老人ホームシルク(白倉)を訪問し慶祝状と祝金を手渡しました。

岩井さんは南牧村の生まれで、下仁田町出身のご主人と結婚し同町内において夫婦二人三脚で農業を営み、2男1女に恵まれました。

25年ほど前より長男の元に身を寄せていた岩井さんの長寿の秘訣は「好き嫌いなく何でも食べること」で、以前はよく家族に料理を振る舞っていました。現在は面会に訪れる家族を常に気遣い、施設職員には「ありがとう」の言葉を欠かさないなど周囲への感謝の気持ちを大切に過ごしています。



共に生きる 「歌声喫茶」 でつながる



同施設の職員で日本音楽療法学会認定音楽療法士の小西美奈子さんは「みんなで一緒に歌い、おしゃべりすることはフレイル予防にもなります。聴くだけでもよいのでぜひ一度足を運んでみてください」と話しました。

主に高齢者を対象とした「歌声喫茶」が3月25日、障がいがある人の就労支援をしているNPO法人プレパレ(善慶寺)にてプレオープンしました。

当日は、ピアノなどの生演奏に合わせ客のリクエストに応じ懐メロなどを全員で歌唱(左写真)。「歌声喫茶」は地域の人々が音楽を通じ気軽に交流する場であり、施設利用者にとっては接客や調理、楽器演奏などさまざまな役割を担いながら、自立を目指す場でもあります。

＼グランドオープン／
5月13日(火)

開催日 毎週火曜日(祝日はお休み)
午前10時30分～正午
参加費 600円(1ドリンク付き)
デザート付きは+300円
※要予約 ☎67-5280



新しい車両で送迎が便利に

社会福祉法人富岡双葉会の障害児通所支援事業所(放課後等デイサービス双葉・福島)では日頃の健全な事業運営が認められ、補助事業で車両を購入しました。

これは公益財団法人JKA(競輪とオートレースの振興法人)の令和6年度公益事業振興補助事業の「福祉車両の整備」が該当になったものです。

この車両は利用者の毎日の送迎はもちろん、お出かけや外出体験などでも大活躍中です。



新しい車両の前に並ぶ利用者たち

津金澤さんの100歳を慶祝

津金澤かねさん(大正14年4月11生まれ・白倉)が100歳の誕生日を迎えられ、4月11日に森平町長が介護老人保健施設こまち(富岡市)を訪問し慶祝状と祝金を手渡しました。

津金澤さんは富岡市の生まれで、結婚後は夫婦で農業に励み、2男1女に恵まれました。

長寿の秘訣は「好き嫌がなく何でも食べること」。若いころから多趣味で、大正琴や民謡をたしなむ一方、裁縫も得意で巾着などの小物作りも楽しんでこられました。明るく社交的な性格で友達も多く、おしゃべりが一番の楽しみ。現在も施設内で他の入所者との会話を楽しみながら過ごしています。



書道を通じた文化交流 国際交流振興協会



清書した作品を手に笑顔を見せる参加者たち

甘楽町国際交流振興協会(長岡昭宏理事長)は3月22日、日本文化への理解を深めることを目的に外国人を対象とした書道体験教室を開催しました。ALT(外国語指導助手)や町内の事業所に勤務する計7名が参加しました。町内で書道教室を開く同協会の井野口美代子さん(小川)が講師を務め、筆の持ち方など基本的な技術を丁寧に指導しました。

参加者たちは、初めての毛筆に少し戸惑いながらも「ありがとう」や「こんにちは」といった言葉に挑戦し、見事に書き上げました。日本の伝統文化である書道を通じて、国際交流の輪が広がる素晴らしいひとときとなりました。

叙勲を伝達 故長谷川 儀平さんへ

長きにわたり甘楽町議会議員を務められ、今年2月に亡くなられた長谷川儀平さん(小幡)に叙勲が授与され、4月8日に森平町長が勲記と勲章を長男の哲哉さん(右写真)に手渡しました。叙勲とは、公共のために特別な功績があった人に対し、逝去後に授与されるものです。

長谷川さんは、町議会議員として平成19年から3期12年在職し、町議会副議長、総務文教常任委員会委員長、富岡甘楽衛生施設組合議会議員などの要職を務められ、町の発展および住民の福祉の向上と地域振興に大いに寄与されました。

